

採血のすべて

手技から採血室の運用まで徹底解説

CONTENTS

I 総論

採血の歴史と標準採血法ガイドライン[大西 宏明]	184
法令面からみた採血[千葉 正志]	192

II 採血の実際

採血にかかわる解剖学[木森 佳子]	202
標準的な採血手技[東 克巳]	208
採血時のコツと注意点[服部 桜]	217
採血器具の選択—ホルダー, 注射器, 翼状針など[大西 宏明]	222
採血管の選択と順序[三浦 ひとみ]	227

III 採血手技と検査値

溶血および凝固の影響とその対策[大川 龍之介]	234
駆血および採血手技が検査に与える影響[清宮 正徳]	239
体位の影響[清水 慶久, 市原 清志]	243
生理的変動の影響—ホルモン, 負荷試験の留意点[下澤 達雄]	248
抗凝固剤の影響[神山 清志]	254
採血後の検体保存の影響[田村 孝子]	262
血液培養のための採血[大塚 喜人]	268
遺伝子関連検査・染色体検査の採血および採血後の検体の取り扱い[横田 浩充] ..	273

IV 採血合併症と予防・対応法

神経損傷[藤田 浩]	278
血管迷走神経反応[入江 仁]	284
採血に伴う職業感染[笹原 鉄平]	290
その他の合併症[山崎 家春]	296
採血の裁判例 —損害賠償責任の根拠と手技上の過失に係る裁判例の概要[前田 正一]	302

V 採血室の運営と工夫

採血室におけるマネジメント[曽根 伸治]	308
ISO 15189取得に必要な採血室の要件[小野 佳一, 佐藤 智明, 矢富 裕]	312
採血説明書と採血室の掲示[金子 誠]	320
採血教育と採血手技の評価[秋永 理恵, 稲葉 則和, 下野 僚子]	324
採血での患者固有情報の有用性[盛田 和治]	330
採血に関連する新たなデータ解析への取り組み —血管迷走神経反応発生状況および投書内容の計量テキスト分析を用いた解析 [吉本 明, 柴山 春奈]	335
外来採血室における血糖負荷試験に対応した採血管供給システム[野々部 亮子]	338
採血時の接遇とクレーム対応[加賀山 朋枝]	342
採血室の安全管理[米山 里香]	348
監視カメラを利用した採血室管理[市村 直也]	354
病棟採血の安全性向上への取り組み —RFIDを用いた患者認証システムの運用[森本 誠]	360

付録 教科書には書いていない採血のコツ

翼状針の斜め持ち[枋尾 人司]	364
前腕内転法[枋尾 人司]	365
バトンリリーススタイル法[枋尾 人司]	366
脈血帯の下留め[枋尾 人司]	367
“正対し、背筋を伸ばした姿勢”から[枋尾 人司]	368
“ボクサー拳(こぶし)”で手背採血[枋尾 人司]	369
手背採血のための効果的トレーニング法: “伸展輪ゴム刺し訓練”[枋尾 人司]	370
成功につながる患者確認法: 「〇〇さん、〇〇さんは名前を何とおっしゃいますか?」[枋尾 人司]	371
痛みを最小限にする穿刺法[枋尾 人司]	372
“あっ、逆血がない!” 穿刺失敗時の原因と対処法[枋尾 人司]	373
“あっ、血が止まった…” そのときどうする?[枋尾 人司]	374
血管迷走神経反応(VVR)の回避法: 「患者を笑顔に!」[枋尾 人司]	375

※本付録は、『検査と技術』43巻4号(2015年04月)～44巻4号(2016年04月)に掲載された連載「教科書には書いていない採血のコツ」を修正のうえ、再掲したものです。